

編集後記

(61巻 第7号 2015年7月)

今、世界の注目をあびているニュースはギリシャ危機である。何故、ギリシャは大きな負債を抱えるようになったのか。ネットで調べてみると、公務員数が異常に多く、またその給与がきわめて高い状況を放置したためであると解説されていた。なんと最近までギリシャに何人の公務員がいるか誰も知らなかったという。調査してみると4人に1人が公務員だったようだ。

この編集後記が出る頃には結論が出ているかもしれないが、国が破綻するとどういった状況になるのだろうか。まったく想像が出来ない。個人が自己破産した場合には、資産の大部分は没収され、カードも持てなくなって、借金も出来なくなるという。アクアポリスのパルテノン神殿が競売にかけられたりするのだろうか。日本も他人事ではない。国の借金を減らすためには消費増税もやむを得ないのかもしれない。

(小川 修)